



(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	大野町立大野中学校		
実 施 期 間	平成25年10月23日(水)～11月13日(水)		
実 施 概 要	①合唱祭Ⅰ(学年) ②授業参観及び合唱祭Ⅱ(全校) ③ボランティア活動 ④職場体験・職業講話		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	595人	計 631人
	地域関係者	36人	
実 施 状 況	①合唱祭Ⅰ <10月23日(水)> 来校者 保護者300名 地域関係者7名 町民センターを一日使って、学級ごとに取り組んできた合唱を保護者や地域の方に披露する合唱祭を開いた。 		
	②授業参観及び合唱祭Ⅱ <10月28日(月)> 来校者 保護者240名・地域関係者(学校評議員・民生委員)8名 今年度は保護者からの要望も踏まえ、授業参観後に合唱祭Ⅱとして学年合唱と各学年最優秀学級の合唱を披露した。26日(土)予定が、台風のために28日(月)になった。平日にも関わらず、多くの保護者の参観があった。  <保護者からの感想> ○合唱は学年が上がると共に上手くなっていると思いました。これからも続けていってほしいです。 ○体育館という大きな場所でも集中して取り組んでいた姿はすばらしかったです。落ち着いて取り組めていることがよく分かりました。先生方の御指導のおかげだと感謝いたします。ありがとうございます。		
	③ボランティア活動 ・大野まつり等の地域活動 本校区では、大野中学生徒によるボランティアが地域に根付き、この時期の休日は様々な活動や催し物のボランティアの依頼を受け、それぞれの地域で活動している。 大野まつり…商工会の出店(50名)・福祉課の募金(7名) 4小学校区の文化祭準備(4校区計113名) 地区運動会の準備・手伝い(52名) ふれあいウォーキング手伝い(18名) 地域ふれあい歴史散策手伝い(31名) 		

<初めて参加した1年生の感想>

- ・地域の人に「ありがとう」と言われ、少しでも協力できたことが嬉しかった。
- ・やりがいがあった。自分がやってみんなのためになるので、これからも進んで参加していきたいと思っています。

・PTAとの校内環境整備 <11月9日(土)>

来校者 保護者55名・生徒有志

PTAが主催で、保護者・生徒・教師が協力して学校環境整備を行った。学校花壇を来年度春用に耕して球根や苗を植えたり、運動場周りの側溝の土砂を汲み上げたり、共に汗を流した。



④1年出前講座<11月6日(水)>・職業講話<11月13日(水)>

2年職場体験<11月6日(水)・7日(木)>

来校者 1年地域関係者9事業所21名・2年地域関係者多数

キャリア教育の一環として、今年度1年生は地域の方の海外での勤務体験から「働くことの大変さややりがい」を学んだ。さらに、地域の9事業所の方を招いての職業講話を聴いて学んだ。

2年生は、地域の職場66か所に2日間出かけて、勤労体験を通して地域の方から学ぶ中で、大野中生を見ていただいた。

<2年生職場体験の感想>

看護師という仕事は思っていた以上に辛くて大変な仕事だったけど、患者さんの「ありがとう」の一言や笑顔で、「がんばろう」と思える気がしてやりがいのある仕事だと思いました。患者さんの苦勞も少しだけ体験して、辛くても生きる患者さんはすごいと思ったり、それを支える看護師さんもすごいと思いました。働くことはお金のためとか自分のためでもあるけれど、やっぱり人のためのほうが大きいと思います。患者さんと接するには、第一印象で「この人、いいな。」と思ってもらえないといけません。だから、日頃から明るく挨拶したり笑って人に接したりするようにしたいです。

成果及び課題

(1) 成果

○学校における授業や合唱、その他の教育活動の公開を通して、保護者や地域の方に生徒の様子や学校の教育活動に関する理解を促すことができた。特に、参観者へのアンケートを実施し、学校経営の重点とその進捗状況について生徒の姿を通して評価を受け、指導の効果や改善点を明らかにすることができた。

○これまでも大切にしてきた地域行事・ボランティア活動、職場体験等については、今までの実績をもとに、事前の活動の紹介や現地での活動状況の把握を大切にすることで、生徒の参加意欲を向上させることができた。また、生徒の活躍を「学校だより」や「校内掲示」「校内放送」によって広報することを継続し、ボランティア活動のよさやすばらしさ(価値)を啓発することができた。

(2) 課題

▼「ふるさと教育週間」の趣旨に基づき、おおよその公開の形はできてきた。今後さらに、各実修行事・活動をキャリア教育の視点から生徒の自立、生き方指導に帰結できるよう、行事・活動の構想を見直す。